



8月26日、木崎小学校隣の「みんなの広場」で、ちょっと変わったゲートボール大会が行われました。

この大会は、内島見子供会育成会と内島見老人クラブが計画したもので、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、子供たち、合わせて約70人が参加しました。三世代一緒にこのゲートボール大会には、好プレー、珍プレーが続出、参加者は暑さも忘れて奮闘していました。

子供会育成会の会長馬場均さんは「夏休み中の毎週日曜日、合同練習をしました。親だけでなく、おじいちゃん、おばあちゃんとも親睦を深めることが目的なんです。来年は小学校の低学年も含めてやりたいですね」と語っていました。

お盆野球大会

八月十四日・十五日、会場木崎野球場ほか、参加三十一チーム
①セブンティーン ②浦木クラブ ③岩商クラブ、テンリユウ

長浦地区ソフトボール大会

八月二十六日、会場豊栄南小学校、参加八チーム（小学生男女）
①川西ファイターズ ②上堀田連合 ③下土地亀

二十五校四十八人の応募者の中から選抜された十五人の発表者は、「久美ちゃんをいじめないで」「もっとボランティア活動を、」

「父の仕事」などの題で、学校や地域や家庭の中で得た貴重な体験などを主張しました。中学生らしい素直な心とするどい感覚の提言に会場に集った四百人ほどの人たちは真剣に耳を傾けていました。

審査の結果、黒川中学校三年の鈴木紀美子さんが最優秀賞に選ばれ県大会に出場することになりました。また、葛塚中学校三年の阿部まり子さんと木崎中学校三年の山口勝己君ら十四人に優秀賞が贈られました。

貴重な体験を発表

少年の主張 地区大会



青少年の健全化に役立てるため二市一郡少年の主張大会が、八月二十八日市の中央公民館で開かれました。

この大会は、新発田市、豊栄市北蒲原郡十か町村の中学生が、自分の意見を発表することによって青少年に対する理解と認識を深めてもらおうというもので、昭和五十四年の国際児童年を記念して始められました。

ありがとう

ありがとうございました

○ 豊栄ロータリークラブ（会長山田昇）が、公園用ベンチ十五基を市に寄贈。

○ 上大口サービス店会（代表横山正一）が、七月二十九日開いた朝市の収益金から一万円を福祉基金へ寄付。
○ 日本中央競馬会が、市の福祉施設にと十五万四千八百円を寄付。このお金は、八月十二日に

社会奉仕や仲間づくり

おじいちゃん

市青年団長 小柳

覚さん（横土居、二三歳）



ボランティア活動やふれあいを目的に市の青年団は様々な活動を行っています。四月から、青年団の団長として大忙しの小柳覚さんにお聞きしました。

最近の活動について。
「八月五日に、住み郷、市役所青年団が一緒になって、市内十二

か所に空き缶投げ捨て防止の看板を立てました。市側で用意したのが十個で、外の二個は青年団の手作りによるものなんです。それと八月十五日の成人式の時、オープニングコンサートと立食パーティーを行いました。新潟大学の軽音楽部の人たちから生演奏をもらったんです。今年の成人式の出席者は三百人ちょっとでしたが、式が終わってからの立食パーティーは好評で、九割位の人たちが残っていたようです」

青年団の構成など。
「団員は現在三十人で、女性が七、八人でしようか。農業者、サ

ラリーマンなど職業は様々です。団員の交流を図るために、毎年、キャンプ、球技大会、ダンスパーティー、スキーなどの活動を行っているんですがカップルも何組か誕生しています」

青年団としての今後の計画は。
「五十五年には静岡県島田市と、五十六年には栃木県鹿沼市と交歓研修会を行いました。住む所は違っても若者の意気は同じなんです。二年続けて交歓会をやっている。今年も、県外を問わず、是非今年はやりたいと思っています。それと、青年団では団員を募集しています。三十歳までの人だったらどなたでも結構ですので、仲間に加わりませんか」

小柳さんは三年前、中国への農業視察を経験、水稲の外、梨、ブドウなどの果樹を栽培する農家の跡取りだそうです。

市民文芸

俳句

豊栄俳句会

古里へくれば気兼ねない跣足

小柳 翠歩

夕立にさめぬ麻酔の妻看とる

松田 吐思

飽食の牛寝せ牧の草いきれ

坂井 耕月

草いきれ定年のなき農夫病む

五十嵐柳翠

夕立に雁木灯暗き城下町

中川 和世

川柳

「自由吟」

豊柳会

隙のない構えジョークが首すくめ

水田蛙太郎

万灯は消えても法の灯は消えず

大島 残葉

都合好い話だけするから縛れ

師橋 山雨

黙禱の忠魂に鳴くセミの声

米田 とみ

田舎家が傾くような帰省客

野村 良平

短歌

豊栄短歌会

五十嵐清選

朝冷えのする季節となりこぼろぎの厨の隅に入りて鳴きつぐ

馬場はるみ

つくばいの笥に細く垂る水の音さやかなり水輪描きて

山田 スミ

歌ひつつ孫と吹きにしシャボン玉とんぼと蝶とたわむれて翔ぶ

飯田 千歳

久々の雨に濡るるも心地よし素足に出て茄子などもぐ

山崎きよみ

酸塊の実色づきくれば椋鳥の群れやかましく鳴きてついで

落合 幸